

# 平成 23 年度先進地視察会実施概要

## 1) 目的

実際にまちづくりの現場を体感することによる先進情報の収集・蓄積と、視察会後のそれぞれの組織における議論に役立てていくことを目的として実施した。

なお、視察先については、若手の会と NB ミーティングにおいて検討テーマ・勉強会のテーマとなっており、これまでの視察会で実施していない以下の分野を設定した。

## 2) テーマ

①新交通を一体的に整備したまちづくり

●ユーカリが丘（千葉県佐倉市）

開発地区内に新交通システムを導入し、駅を中心としたまちづくりを実施。約 152ha。民間開発

②インキュベーションセンターによる新産業創造と地域経済の活性化

●さがみはら産業創造センター（神奈川県相模原市）

新規創業、新分野への進出を図る人を支援し、新しい産業を創造する拠点であるインキュベーションセンター

③都市化の中での農業形態と新技術による野菜工場化

●森の食農学校スマイル農園（東京都立川市）

●パソナグループ アーバンファーム（東京大手町）

都心のオフィスにおける農業事例。

## 3) 実施日時

平成 23 年 11 月 25 日（金）～27 日（日）

## 4) 視察地

①新交通を一体的に整備したまちづくり

●ユーカリが丘

所在地：千葉県佐倉市

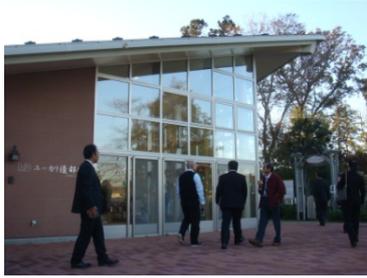
開発面積：約 170ha（第 1 期開発は約 152ha）

開発手法：民間開発、一般宅地造成事業

概要：

- ・開発地区内に新交通システムを導入し、駅を中心としたまちづくりを実施。
- ・歩いて暮らせるまちづくりを目指して、開発事業者が開発地区内に新交通システム（ユーカリが丘線）を整備・運営。
- ・ユーカリが丘線は最寄りの鉄道駅（京成本線ユーカリが丘駅）と結び、開発地区内に延長 4.1 km のラケット状の単線ルートで運転（13 分で一周）。
- ・ルート上に起終点を含めて 6 駅が設置されており、開発地区内の全ての住宅から徒歩 10 分以内で駅に到達可能。

- ・駅を中心に「駅前の立体開発」と「住宅地の平面開発（駅から徒歩 10 分圏内）」を基本コンセプトとし、無秩序な街並み景観の抑制や施設の住み分けが実現されている。



## ② インキュベーションセンターによる新産業創造と地域経済の活性化

### ● さがみはら産業創造センター

所在地：千葉県佐倉市

概要：

- ・新規創業、新分野への進出を図る人を支援し、新しい産業を創造する拠点であるインキュベーションセンターとして活動（1999 年会社設立）
- ・現在、2 つの建屋、計 102 室のオフィス・ラボに、創業間もない個人やベンチャー企業が入居し活発な活動を展開しており、創業準備・創業直後の方々を育成するためオフィスを分割したブースの提供も行っている。
- ・施設の設置・管理運営を行っている「株式会社さがみはら産業創造センター」は、相模原市、独立行政法人中小企業基盤整備機構、相模原商工会議所、地元企業などの出資により経営。
- ・同社は、「相模原の大地に新しい風を起こし産業の息吹を育み新しいビジネスを目指す」ことを目標に、地域企業の課題解決、企業間連携による研究会事業、投資事業、人材育成などの教育事業に取り組む、地域経済のさらなる活性化を進めている。



## ③ 都市化の中での農業形態と新技術による野菜工場化

### ● 森の食農学校スマイル農園

所在地：東京都立川市

耕作面積：125 a

施設：パイプハウス 230 m<sup>2</sup>×4 棟

概要：

- ・地産地消をモットーに、「顔が見える野菜」を地元立川で生産・販売している。また、

農作業や野菜収穫を体験することで、野菜に興味を持ち、大地や季節を感じて旬の野菜を食べるキッカケになればとの思いで、平成20年度より、体験農園、収穫農園（野菜オーナー制）が開始されている。

- ・立川市外からも通う人がいる人気園となっており、利用者同士、職業や年齢の違いを超えたたくさんのつながりが生まれている。
- ・立川市内の農家有志32名が集まった、生産者グループ「立川エコファーマー倶楽部」により運営されている。（東京都認定のエコファーマーを取得）
- ・平成22年度からは建設した食育施設「スマイルキッチン」において、種まきから調理までを体験する食農教育にも取り組んでいる。



#### ●パソナグループ アーバンファーム

所在地：東京都大手町

概要：

- ・「アーバンファーム」では、「働く人の健康」「農業」「エコ」をキーワードに、様々な設備を導入しながら植物あふれるビルづくりを行っている。
- ・自社の栽培技術を用いて、都会でできるビル農業を提案しており、オフィス内の天井や壁では80種類以上の果樹・野菜が育ち、ベランダ・外壁では200種以上の植物が季節ごとに咲き誇り、都会にいながら春夏秋冬を感じられる。
- ・働く人が植物と共存し、一人ひとりが毎日世話をし、その野菜を食べる、「自産自消」のコンセプトを体現している。
- ・パソナグループは人材派遣が主な事業内容だが、農業従事者支援に関する取り組みを行っており、その中で働きやすいインフラ整備も行っていることから、アーバンファームがつけられている。



## 5) 参加者名簿

	所属	氏名
1	普天間飛行場を考える若手の会	伊佐 善一
2		呉屋 力
3		伊佐 力
4		大門 達也
5		宮城 敏彦
6		宮城 武
7		富川 盛光
8		宮城 克
9	ねたてのまちベースミーティング	新里 均
10		仲村渠 満
11		松川 寛重
12		屋良 千枝美
13	宜野湾市軍用地等地主会	佐喜真祐輝
14		伊佐 貴子
15	宜野湾市役所 基地政策部基地跡地対策課	照屋 盛充
16	昭和株式会社	安藤 彰二
17		雨宮 知宏
18		嶋岡 強太

## 6) 視察会行程

日 時	内 容	備 考	
25 日 (金)	7:00	那覇空港集合 (3階 ANA カウンター前)	ANA120
	8:00	那覇発 (8:00⇒10:10) ↓	
	10:30	羽田空港出発 ↓	バス移動
	11:00	パソナグループ アーバンファーム (東京大手町)	講義・現地見学
	11:45	昼食	
	12:30	視察地へ出発	講義・現地見学
13:30	「ユーカーが丘 (千葉県佐倉市)」の視察 ↓		
17:00	ホテルへ移動	バス移動	
17:30	宿泊先ホテル到着	千葉県佐倉市	
18:30	夕食		
26 日 (土)	9:00	ホテル出発 ↓	
	10:30	「ユーカーが丘」及び佐倉市内見学 (千葉県佐倉市) ※視察メンバーで前日見られなかった箇所の街歩き	
		出発	
	11:30	↓ 昼食	
	12:30	視察地へ出発	
15:00	「森の食農学校スマイル農園 (東京都立川市)」の視察 ↓	講義・現地視察	
17:00	宿泊先ホテル到着	東京都立川市	
18:30	夕食		
27 日 (日)	8:15	ホテル出発 ↓	バス移動
	9:00	「さがみはら産業創造センター」(神奈川県相模原市)	講義・現地視察
	12:00	昼食	バス移動
	13:15	空港へ移動 ↓	
	14:00	羽田空港着	
	15:15	羽田発⇒那覇着 (15:15⇒18:00)	ANA139
18:00	那覇空港で解散		